

セ タ ガ ヤ ボ ン テ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2022.6 No.218

今月のトピック

特集●

せたがや学生ボランティアネットワークの活動
～大学生のボランティア活動を支援～

キラリ世田谷人●児玉 勇二さん

おたがいさまフェスタ2022開催レポート



イラストレーション●魚眼亭

世田谷生まれ世田谷育ち。生き物が好きで
普段は海の生き物をモチーフに立体物を作っています。

●わたしの世田谷

緑が多く、そこに集まる様々な生き物
と触れ合いながら育ちました。
都会すぎない程よさが良いなと思いま
す。

せたがや学生ボランティアネットワークの活動 ～大学生のボランティア活動を支援～

世田谷区内には17の大学・学部があります。区は、地域でボランティア活動を行う大学生が相互につながり、学生ボランティア団体の間でネットワークを作って活動する機会を増やそうと、「せたがや学生ボランティアネットワーク会議」や、「せたがや学生ボランティアフォーラム」を開催しています。世田谷ボランティア協会もサポート役に加わり、学生ボランティア団体の活動を応援しています。今月号では、コロナの状況下で、自ら考えながら活動する大学生の取り組みをご紹介します。



ネットワーク会議を開き、
自分たちのできることを確認

昨年度のネットワーク会議は、11月、12月、1月、3月の計4回オンライン形式で開かれました。参加したのは、大学で活動するボランティアサークルのリーダーたち（4大学7団体）です。自分たちの団体の紹介に始まり、これまでにやってきたこと、今後やりたいことなどについて意見を出し合いました。

新型コロナウイルスの影響で、対面や遠方に赴いての活動ができないなど、多くの団体が大幅に制限されています。学生からは、その悩みも多くの話題に上りました。例えば、明治大学「きずなInternational」では、東日本震災の被災地でのボランティア活動を続けてきたものの、今の状況では行くことができません。近隣での活動の可能性を探っています。国士舘大学「児童教育

研究会」は、以前は埼玉県吉見町の子どもたちと工作やレクリエーションをするイベントを企画し、数日間を共に過ごすなどの機会があったのに、今のメンバーが入学して以降は、実際に子どもと触れ合う機会がないまま練習に励む毎日。海外と交流する団体は、国内で支援の呼び掛けのみ継続しています。制限を受ける中、少しでも工夫しながら活動しています。



地域の人と一緒に弁当配布の準備

ネットワーク会議から 実現した活動も

学生との対話が進んでいく中で、世田谷ボランティア協会と地域とのつながりを活かし、新しい活動を始める団体も出てきました。ここでは、梅丘ボランティアビュローを拠点に、4月から活動を始めた二つのグループをご紹介します。



梅丘商店街でお弁当などを配布する
明治大学『きずな international』の学生たち

ひとつは、明治大学「きずな international」が参加している「うめ・ゆめ子ども食堂」。設置主体はNPO法人子育てねっとSukusuku（または「地域のNPO法人」）で、「子ども食堂実行委員会」には、梅丘商店街や、地域の方々もメンバーに加わり一緒に活動しています。コロナの今は、一から食事を作って提供することがなかなか難しい

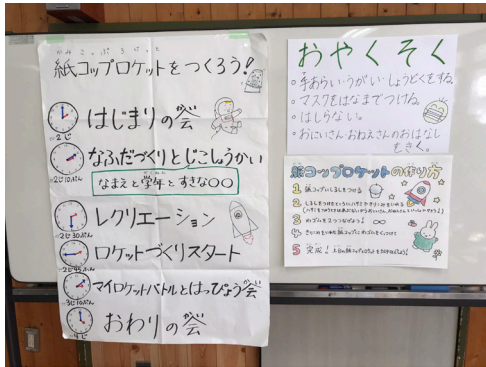
ため、まずは出来上がったお弁当を配るという取り組みから始めました。

4月2日（土）のお昼に、梅丘商店街の一角で、企業から提供されたお弁当のほか、寄付のあったお米などの食料品、消毒用品などの日用品を配布しました。学生たちは配布するものを小分けにしたり、カウンターに並べたりといった準備を進め、11時の開始を待ちます。開始前にはすでに列ができ、学生たちは街の人とのコミュニケーションを楽しみながらお弁当を渡していました。その後も通りがかりの家族連れなどに積極的に声をかけ、お弁当は1時間ほどで予定の数を終了。地域に住む人と触れ合いながら過ごす楽しい時間となりました。また、実際に地域で活動する大人との話し合いを進めながら一つの企画を実現することも、学生たちには新鮮でよい経験になったようです。

今回は企業から寄付されたお弁

当を配るといふ形での第一歩でしたが、今後は梅丘ボランティアビュローの厨房を使って子ども食堂を開催したり、小中学生向けの学習会を企画するなど、積極的に取り組みたいと学生たちは話しています。

もう一つの取り組みは、国士舘大学の「児童教育研究会」が始めた、小学生対象の「せたがやASOBO（アソボ）!!」です。梅丘



ロケットづくりのスケジュール。
「おやくそく」もしっかり確認

ボランティアビュローの会議室を使い、土曜日の午後に工作やゲームをするイベントを始めました。記念すべき第一回は春休み中の4月2日。学生たちはチラシを作って近隣の小学校などに配布し、ゲームを考え、工作に使うものを揃えるなど準備を進めました。当日は12人の地域の小学生が集まり、紙コップでロケットを作り、みんなで飛ばしたり、ゲームをしたりして遊びました。大学生のお兄さん、お姉さんがそばで教えながら一緒に遊んでくれるので、参加した子どもたちも大きな声で笑いながら楽しんでいました。

教師を目指す学生などが参加する児童教育研究会ですが、今のメンバーが入学したところにはコロナの流行が始まっており、子どもたちと対面で接する機会は全て失われてしまったということ。そのため、学生たちは交代で子ども役を演じるロールプレイなどを通じ、

子どもと遊ぶ練習を重ねてきました。当日も午前中から集まって何度もしゃべりを繰り返して、本番を迎えました。少し緊張気味の学生たち。実際の子どもへの反応は、ロールプレイとは違うことばかりでしたが、「リアル」な子どもと触れ合えたことで大きな成果を得たようでした。今後も月に一度程度、このイベントを継続して実施していきたいということです。

今年度も、せたがや学生ボランティアネットワークの活動は続きます。学生たちの自発的な活動を実現させるため、世田谷ボランティア協会も引き続き支援していきます。

せたがや学生

ボランティアフォーラム開催

3月には、年に一度の「せたがや学生ボランティアフォーラム」を、オンライン上で開催しました（現在、世田谷区オフィシャルチャ

ンネル（YouTube）で視聴可能）。

基調講演では、自らも学生ボランティアとして活動後、市民活動にかかわる仕事をするようになった日本NPOセンター事務局次長・上田英司さんが、大学生や若者のボランティア活動についてお話しされました。

上田さんによると、大学生のボランティア活動は、ボランティア活動に携わる団体、社会、学生自



子どもたちとロケットづくり。
大学生と一緒に考えました

身の三者それぞれに意義があるといえます。まず団体にとつては、若者ならではの新しい発想や新しい視点が加わることで、活動の活性化につながります。社会にとつては、ボランティア活動が社会課題の解決そのものにはつながらないかもしれないけれど、社会活動の意味を考える視点を持った市民が増えることで、豊かな社会につながります。そして、学生自身にとつては、ボランティア活動にチャレンジし、失敗する機会になるということを教えられました。

そのほか、ネットワーク会議に参加する各団体の活動を紹介したり、みんなで学生ボランティアについて語るパネルディスカッションも行われました。ボランティア活動をしたと思うながら、きっかけがなく一歩が踏み出せないでいる学生や若い方は、ぜひ動画を見て参考にしてください。

貴重な大学生活のうち、2年間

をコロナの影響で制限されている今の大学生。しかし、できるところから積極的に社会と関わっていかうとする姿勢は、地域の大人たちや、世田谷ボランティア協会にも大きな刺激になりました。学生にとつても、今回のネットワーク会議を通じて他大学の団体ともつながることができ、貴重な体験だったとの声が聞かれました。お互いに悩みを相談し、意見を出し合い、活発な社会参加につながるよう、これからも学生たちをサポートしていきます。

（取材／編集委員 中部 香世）

令和3年度参加7団体

- ・ 国士舘大学
児童教育研究会
- ・ 昭和女子大学
ENVO
- ・ 日本大学文理学部
国際ボランティアグループSalamat“A”
児童文化研究会
- ・ 明治大学
きずな International
チャリティータンタ世田谷明治大学支部
ばれっと



「今こそ平和！ 戦争はいやだ！」

児玉 勇二さん
こだま ゆうじ

や せ た 人 が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

「やだ！」との思い
が、児玉さんの筆
を走らせます。

浅草に生まれ
て、1945年3
月10日の東京大空
襲にあった時は1
歳半。入るのを断

「話しはじめると、止まらない！」弁護士の子玉さん。子どもや障がい者の人権、東京大空襲や安保法制をめぐる裁判と、だんだん熱がこもってきます。話すだけでなく、どんどん書いて本にしています。「司法はこれでいいのか」「いじめ・自殺はなぜなくなるのか」「市民と野党の共闘」など。連休もスキーをしながら、2019年に出版した「戦争裁判と平和憲法」をコンパクト版にする作業をしていました。「長すぎるとみんな読まないから、ウクライナの戦争を契機に憲法9条の精神を世界に伝えたいと思っています」。「今こそ、平和！ 戦争はい

られた防空壕が後で壊滅。入れていたら今の児玉さんは存在していませんでした。「ぼーくー」という言葉が最初に覚えた言葉。死体を踏みつけながら逃げ回ったと母親から聞かされていた経験が今の児玉さんの原点です。もう一つの原点は、運動神経抜群だった小学校時代の親友が、中学2年生の時に突然白血病で死んでしまったこと。終戦間際に原爆投下直後の広島に母親に背負われて入り、黒い雨を浴びたことが原因だと知りました。ものすごいショックが原爆への関心につながります。

中央大学の夜間から、昼間に転じ、司法試験に受かり、2年間裁

判官を務めたのちに弁護士に。裁判官時代に長男が仮死状態で生まれ、障害が残りました。障がい児、少年事件など子どもの人権に関する裁判に多くかかわるようになったきっかけはそこにあります。2001年には、「軍隊を捨てたコスタリカに学び平和を守る会」を立ち上げ、共同代表に。同じころ、「東京大空襲」の裁判に関わることになりました。「大空襲で隅田川に浮かんでいたのも、老人や女性、子どもでした」。「非常事態での民間の被害はやむを得ない」という「受忍論」に対して、戦後補償を求めて闘いました。

「戦争」が現に起こってしまっている今、児玉さんは「熱く」語ります。「世界は核戦争で終わってしまいかもしれない。核兵器禁止条約を実現して、憲法9条を世界に発信する。核戦争をなくすためには、一人ひとりが無関心、無知であることは許されないのです」。

おたがいさまフェスタ2022開催レポート

4月23日(土)に、『下馬福祉工房』『世田谷パブリックシアター』『世田谷ボランティア協会』が協力して、3年ぶりに「おたがいさまフェスタ」を開催いたしました。いつもより規模を小さくしましたが、お天気にも恵まれ、150名を超える来場者がありました。感染対策に各々気をつけながら、ご来場の皆さん、私たちスタッフ、楽しく交流を深めることが出来ました。ご来場の皆様、ありがとうございました。そしてボランティアの皆様、近隣の皆様、ご理解、ご協力ありがとうございました！



世田谷パブリックシアターの皆さんが、ケアセンターふらっとの中川陽子さんの半生を演劇にしました。笑いあり涙ありのパフォーマンスでした。

オープンと同時にバザーには多くの方がいらっしゃいました。皆さん、それぞれの買い物を楽しんでいました。



中川さん新作エコバッグは当日完売！
「多くの方に買って頂いて嬉しかったです。売り上げは次回の製作にあてます。楽しみに待ってください。」

下馬福祉工房「しもまるくんダンス」を、皆さんで踊りました。笑顔いっぱいのダンスで盛り上がりました。



昨年9月の『極楽フェス』でも披露した、ケアセンターふらっとの黒田真史さんの半生を描いた演劇をリニューアルして再演しました。

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えている方、どこに連絡したら問題を解決できるのかわか

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学

らないという方は、電話でご相談ください。お話を聴きながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

バラの水やりと庭のお掃除ボランティア募集

祖師谷2丁目に住む一人暮らしの方の庭のバラの水やり、庭の掃除にご協力いただける方を探しています。主は高齢で通院などもあり一人での水やりが難しくなっています。ご家族が大切にされているバラがもうしばらく素敵にみられるように、週1回、1時間でもお手伝いしていただけたら嬉しく思います。特別な園芸の技術はいりません。特別な園芸の技術はいりませんが、お花を見ることがお好きの方は大歓迎です。

●日時／月～土曜の間で週1回、9時から1時間程度（夏場は夕方5時前後から）
●場所／祖師谷2丁目
●交通／祖師谷大蔵駅徒歩10分
●条件／お花が好きな方
●問合せ／砧ボランティアビューロー準備室 担当 池田
TEL 6411・4007
kinutabora@otagaisama.or.jp

英会話を中学生に教えてくれる人募集

都営船橋四丁目住宅の集会所で、中学3年生たちの学習支援をしています。現在、『都立高校入試の英語のスピーキングテスト』に向けて、英会話を教えてくださる方を募集します。彼らはとても素直で、意欲がある生徒です。詳しくはお問い合わせください。

●日時／毎週水曜16時～17時
●場所／都営船橋四丁目住宅集会所（世田谷区船橋4・30）
●交通／千歳船橋駅徒歩20分
●条件／女性
●問合せ／砧ボランティアビューロー準備室 担当 久我
TEL 6411・4007
kinutabora@otagaisama.or.jp

東

世田谷区こみ拾いボランティア

④駒沢公園&自由が丘

学生団体ULYSSES（ユリス）は、環境問題に関心をもつ

高校生が設立したボランティア団体です。6月は駒沢公園と自由が

丘でゴミ拾いのボランティア活動を実施します。ボランティアにご

興味のある皆さん、一緒に世田谷区のゴミをお掃除しませんか。持

ち物、参加費は不要です。

●日時／①6月18日（土）15時～16時

●集合場所／①駒沢公園の公園管理所前 ②自由が丘駅の南口改札前

●交通／①駒沢大学駅徒歩15分 ②自由が丘駅南改札前

●条件／男女不問、交通費応相談 問合せ／ULYSSES 担当

白井・横嶋

ulyses53022@gmail.com



中学2年生の男子中学生の学習支援をしてくれる女性を募集

苦手教科のうち、特に国語の学習支援を自宅でお願ひできる方を募集しています。集中することが

苦手なので、じっくり気長に教えてくれる人が良いです。電車や歴史（日本の戦国時代）が好きな

で、ひと息つく時間には、そんな話もできると嬉しいですよ。学習支援の活動中はお母さんが在宅して

います。

●日時／月曜18時～19時 時間くらい

●場所／自宅

●交通／祖師ヶ谷大蔵徒歩11分

●条件／女性

●問合せ／駒ボランティアビューロー準備室 担当 久我

TEL 6411-4007

kinutabora@otagaisama.or.jp

有償スタッフ募集

京

地域住民の方の日常生活支援・お話相手になつてくださるボランティア募集

上用質に拠点を置く老人給食協

力会ふきのとうのホームヘルプ部門です。地域住民の小さなお困り

ごととして、お話し相手や、通院や散歩の付き添い、料理作りなど

お手伝いして下さる方を募集しています。学生さんや、今後子育て世帯のお手伝いもしていきたい

と考えていますので、子育て経験が

ある方も大歓迎です。詳しくはお問ひ合わせください。

●日時／随時

●場所／上用質周辺のご利用者宅

●問合せ／老人給食協力会ふきのとう 担当 山森

TEL 3706-2545

yamanori_nao@now.jp

https://fukinotoh.mow.jp/

東

放課後等デイサービス（重症心身障害児）送迎ドライバー募集

重症心身障害や医療的ケアのあるお子様が放課後や学校の長期休暇を過ごす場所として、新規開所した放課後等デイサービス事業所です。

平日は学校から事業所までと事業所から各自宅までの送迎、休日は各ご自宅から事業所の送迎をお願いします。

●日時／①送迎のみの勤務

（平日）16時半～18時半

（休日）9時半～11時／15時～17時

②送迎以外の時間の保育や事務、清掃に入れる方

（月）金 10時半～18時半

（土・祝）長期休暇期間 9時半～18時半※勤務時間、曜日は要相談可

●場所／世田谷区梅丘1-23-2

●条件／要普通免許

●問合せ／NPO法人メディアキッズ担当 安田

TEL 6820-0451

umegaoka@medikids.jp

https://medikids.jp/umegaoka/

有償スタッフ募集

小京 障害者通所施設での給食調理員募集

障害者通所施設（東北沢つどの家）での、給食調理員を募集しております。工場で調理された食材が届くので、包丁を使って調理するものは無く、主な仕事は、炊飯、味噌汁作り、湯煎した食材等の盛り付け、片付け、清掃です。簡単な作業ですので、資格や経験は必要ありません。温かい給食提供で、通所利用者様と一緒に支えてくださる方、ご連絡お待ちしております。

障害者ヘルパー事業所 男性介助者募集

知的障害のある方がその人らしく生きることをサポートしています。社会福祉を学んでいる学生の方には得難い実践を経験していただければ、シニア世代の方にはご自身の社会経験を活かしていただけます。業務内容は朝夕の施設のバス停への送迎、土日の外出サポートなどがあります。勤務時間や曜日などはご相談ください。詳しくはホームページをご覧ください。

●日時／月、火、木、金、土曜日のうち週2日以上 10時～14時

●場所／東北沢つどの家（世田谷区北沢4・24・22）

●交通／下北沢駅 笹塚駅徒歩10分

●条件／時給等はお問い合わせください。

●問合せ／東北沢つどの家 担当 橘
TEL 3465・1832
enzhouse@ybn.jp

<https://tsudoi.tokyo/higashikitazawa>

●日時／応相談

●場所／世田谷区内（土日の外出は多方面）

●条件／時給1300円、特定加算あり、交通費全額支給などあり

●問合せ／障害福祉サービス事業所ピーカン 担当 森下
090・1845・2878
peacanll@gmail.com

<https://www.peacan.info>

講座・その他・募集

東 災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編@昭和女子大学 開催

災害時に区内5か所の大学に開設される「災害ボランティアマッピングセンター」で「災害ボランティアコーディネーター」として活躍する人材を養成するための講座を実施しております。

本年度第1回目として6月11日（土）に協定大学である「昭和女子大学」での開催が決定しました。

●日時／6月11日（土）13時半～16時半

●場所／昭和女子大学1号館4階（世田谷区太子堂1・5・57）

●交通／三軒茶屋駅徒歩10分

小 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待、不登校、いじめ、非行など）や子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／2022年7月6日（土）

●申込み／電話かHPから。事前申し込み制で6月9日（木）12時までに申し込みください。

●※先着順

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 柳・小泉
TEL 5712・5101
sigai@oagisanao.jp



13時半～16時半

●場所／喜多見地区会館2階（世田谷区喜多見8・23・23）

●交通／喜多見駅徒歩3分

●参加費／一般1000円 学生500円

●申込み／電話かHPから

●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 波多野・阿知波
TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

小 代田ピアノローマ近所カフェ

「ギター伴奏で口ずさみましょ!! PART2」

「近所で顔見知りが増えるきっかけに土曜の午後を一緒に過ごしましょう。今回の企画は前回好評につき第2弾。歌は人と人をつなぎます。みなさんのお好きな歌はなんですか。懐かしい曲、思い出の曲、お気に入りの歌をみんな口ずさみましょ。まだまだ大きな声では歌えませんが、ギター演奏に併せて音楽を楽しみましょう。※事前申し込み制です。」

●日時／6月21日（土）13時～16時

小 サポートを求めている子どもに寄り添うボランティア養成講座（全3回）

「どのお子さんにとっても、自分の力を十分に発揮できる環境で過ごすことが大切です。そのために私たちにできることを一緒に考えてみませんか？」

「ボランティア活動に関心はあったけど、今まできっかけがなかった」、「上手に関われるか自信がない」という方でも大丈夫です。子どもと関わるときのポイント、発達障害、知的障害について一から学べる講座です。※事前申込制です。」

●場所／代田ボランティアビュロー2階

●交通／世田谷代田駅西口すぐ

●参加費／100円（お茶代）

●申込み／電話かメールで。メールは件名に、「6/21で近所カフェ」とし、本文に名前前と電話番号を明記して下さい。

●問合せ／代田ボランティアビュロー

TEL 3419・4545

cditabor@otagaisama.or.jp

●日時／6月23日、6月30日、7月7日（毎週木）13時半～16時

●場所／梅丘ボランティアビュロー

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●参加費／500円（資料代）

●条件／電話・FAX、メールは件名「子どもボラ講座申込」で

①氏名②住所③連絡先④年齢（代）⑤何を見てを記載

●問合せ／梅丘ボランティアビュロー

TEL 3420・2520

unebor@otagaisama.or.jp

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。バザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

6月11日(土)に、昭和女子大学で災害ボランティアコーディネーター養成公開を2年ぶりに開催します。防災に役立つ情報も日々アップデートされています。皆様のご参加お待ちしております。(詳細はP10)

◆ふらっと& with より

桜から藤、バラへと街を彩る花々が移り変わります。ようやく春らしい日々が来たかと思ったら、梅雨の足音がもうすぐそこに来ています。6月は紫陽花を楽しみましょうか。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

受け手養成公開講座が始まりました。受け手を目指す方はもちろん、子育て中の方や子どもの問題に関心がある方にもご参加いただきたい内容です。Zoomでも参加できます。詳しくはHPをご覧ください。

編集後記

■少しずつですが、世田谷ボランティア協会のイベントが戻ってきました! 参加者の皆さんが再び交流でき、コロナ禍以前のような活気が戻り、いやいや、それ以上に盛り上げられるように頑張ります。イベント関連はホームページでお知らせしています!

■ふと気が付くと、アジサイが咲き始めていて、ついついの間はまでサクラが咲いていたよう... 時間の経過がとても早く感じられます。アジサイの写真を撮って梅雨を楽しみます。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

